

# 常総市地域福祉計画アンケート調査 報告書

## ～18歳以上の市民～

### 1. 調査の目的

市民の皆様が地域での支え合いに関する考え方などについてご意見をお聞きし、計画策定の基礎資料とするために実施した。

### 2. 調査方法

#### (1) 調査対象

令和6年7月1日現在で18歳以上の市民の皆様の中から無作為で2,000名に送付

#### (2) 調査方法

- ①郵送配布、郵送回収
- ②インターネット

#### (3) 調査期間

令和6年8月1日（木）～令和6年8月19日（月）

#### (4) 回収状況

回答数：803件（回答率：40.1%）

### 3. 調査結果

#### ■地域生活について

- 「地域」として認識されている範囲は、自治会やとなり近所、小学校区など、歩いて行ける範囲となっています。
- 近所との関係は、立ち話をする程度が多くなっていますが、近所付き合いや助け合いの必要性については、90%近くの方が必要性を感じていますが、住民同士のつながりの希薄化を指摘する意見が多くなっています。
- 災害時や緊急時に手助けをしてくれる人がいない人は約40%となっています。近所に困っている人がいる場合にできることとしては、安否確認や声かけ、話し相手などが多くなっています。
- 住んでいる地区の福祉を向上させるための取り組みについては、地域住民による助け合い組織の充実(区・自治会等)、緊急時（災害・急病等）の連絡体制の充実、通院・買い物等、外出時の援助制度の充実などが多く、助け合い意識の必要性、災害時の対応、日常生活の支援が重要になっています。

#### ■こころの健康について

- 日頃、悩みやストレス、不満を感じることは、病気などの健康の問題、家庭の問題、経済的な問題が多くなっています。

- 悩みや不安があった時の相談相手について、相談相手がいるという回答が70%となっていますが、相談する際にためらいを感じる人が70%となっています。相談先については、家族が最も多くなっていますが、友人・知人も重要な相談先となっています。
- 新型コロナウイルス感染症以降、感染対策に対してストレスを感じる、家族と家で過ごす時間の大切さを再認識したなど、約40%が自身や身近な人の心情や考え方に変化があったと回答しています。
- 自殺対策については、いのちの電話、こころの健康相談統一ダイヤルなどの認知度が高くなっていますが、回答者の20%は自殺対策についての取り組みを知らないと回答しています。
- 自殺などを考えたときに、相談しやすいと思う手法としては、電話など非対面で声が聞こえる状態で話す、対面して顔を見ながら話すが多く、直接話すことが大切だと考えられています。

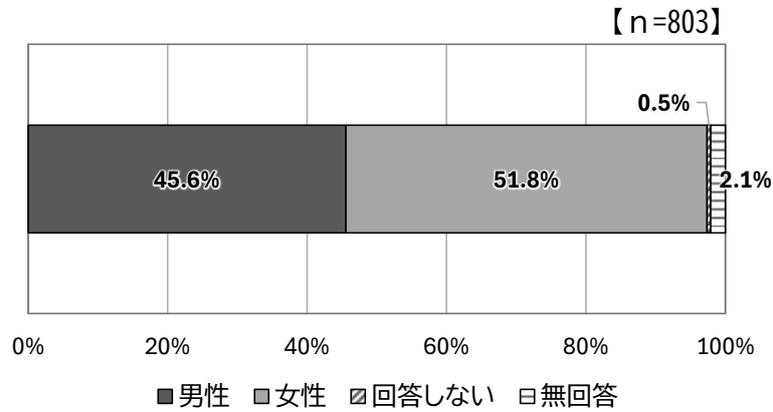
## ■福祉分野の制度やサービスについて

- 生活困窮者自立支援制度や、社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業について、名前も内容も知っているという人はいずれも10%程度となっています。
- 成年後見制度については27.0%の人が名前も内容も知っていると回答しています。また、自身がお金の管理や契約手続きなどに支援が必要となった場合に支援を頼みたい人については、配偶者や子どもなどの家族が多くなっています。
- 福祉サービスを必要とする人が十分にサービスを受けるために必要なこととしては、費用負担の軽減、相談窓口の充実、サービス提供体制の充実が挙げられています。また、福祉サービスの情報入手先としては、市の広報紙が多くなっています。
- 居住する地区を担当する民生委員・児童委員については、担当者の名前も顔も知っているのは20%程度となっています。また、活動内容については、高齢者・障がい者・子育て世帯の訪問や見守り、住民の生活上の様々な相談に応じているなどが知られています。
- 常総市社会福祉協議会については、名称も事務所の場所も知っているのは30%程度となっています。また、活動内容については、地域福祉活動を担う中心的な組織であること、市と連携・協力しながら活動している「社会福祉法人」であることが知られています。
- 地域共生社会については、70%が聞いたことがないと回答しています。また、地域福祉を進めるためには、行政と市民が協力しながら、地域で支え合うのがよいという回答が70%となっています。
- これから地域福祉を推進するために重要なことについては、福祉の情報提供、防犯や交通安全対策の充実、高齢者や障がいのある方が気軽に外出できる環境の充実、市民のニーズに対応した福祉サービスの充実、福祉課題を「我が事」として認識する福祉意識の向上、防災対策の充実などが多くなっています。

あなたのことについておたずねします。

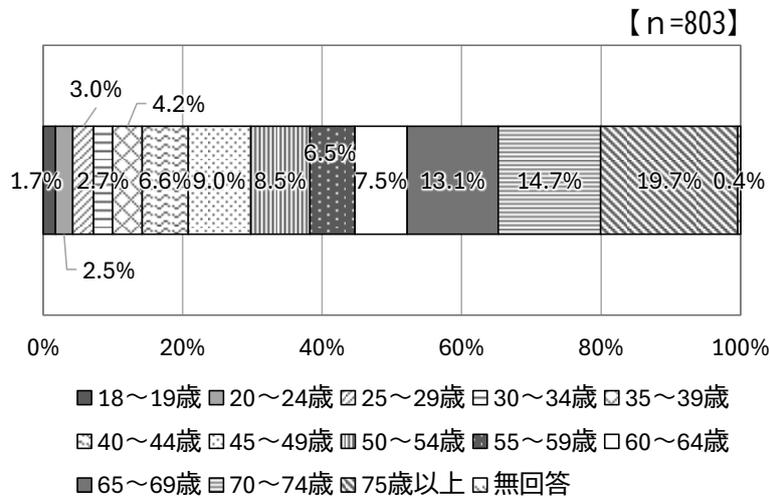
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

○性別は、「男性」が45.6%、「女性」が51.8%、「回答しない」が0.5%となっています。



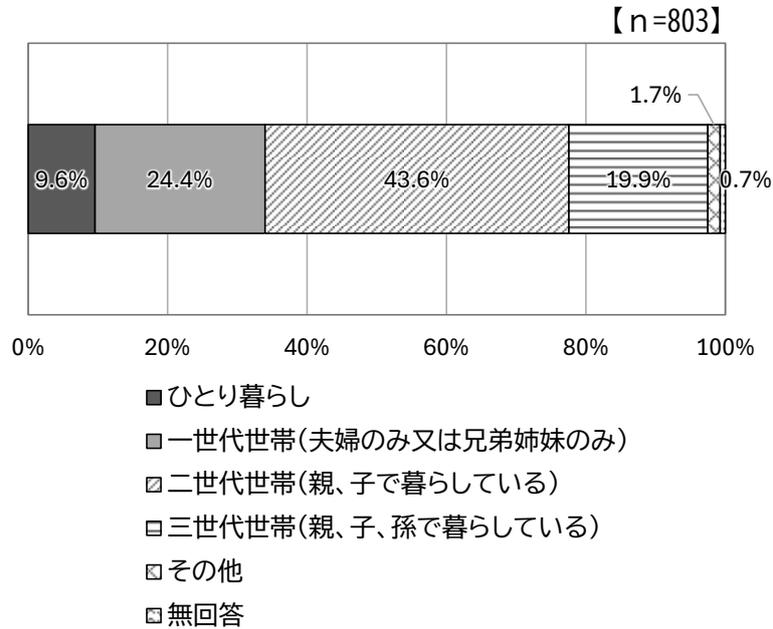
問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

○年齢は、「75歳以上」が19.7%で最も多く、次いで「70～74歳」が14.7%、「65～69歳」が13.1%で、65歳以上が47.5%となっています。



問3 あなたを含め、いっしょに生活されている家族構成は次のどれですか。(1つに○)

○家族構成は、「二世世代世帯」が43.6%で最も多く、次いで「一世代世帯」が24.4%、「三世世代世帯」が19.9%となっています。

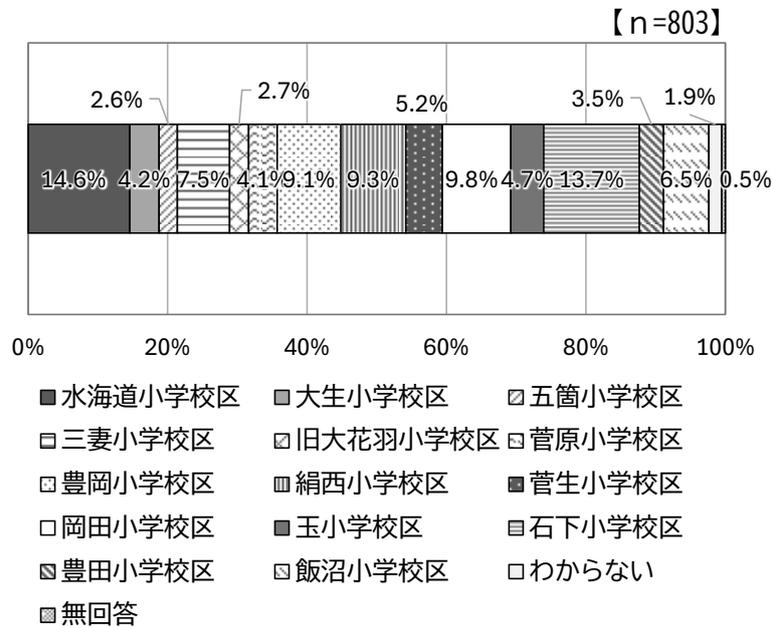


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
18	兄、姪、私
198	父親、私、叔母
272	孫
333	内縁
370	親、本人、姉夫婦
377	四世代 10 人で
457	妻、介護施設に入居
464	妹と二人
496	施設で生活
679	祖母
709	親、子、妹

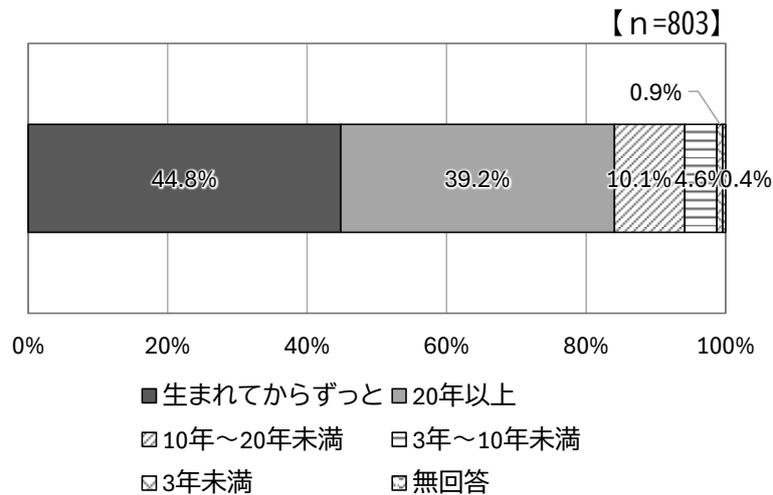
問4 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

○お住まいの地区は、「水海道小学校」(14.6%)、「石下小学校」(13.7%)が多く、次いで「岡田小学校区」(9.8%)、「絹西小学校区」(9.3%)、「豊岡小学校区」(9.1%)などが多くなっています。



問5 常総市に住んでどのくらいになりますか。(1つに○)

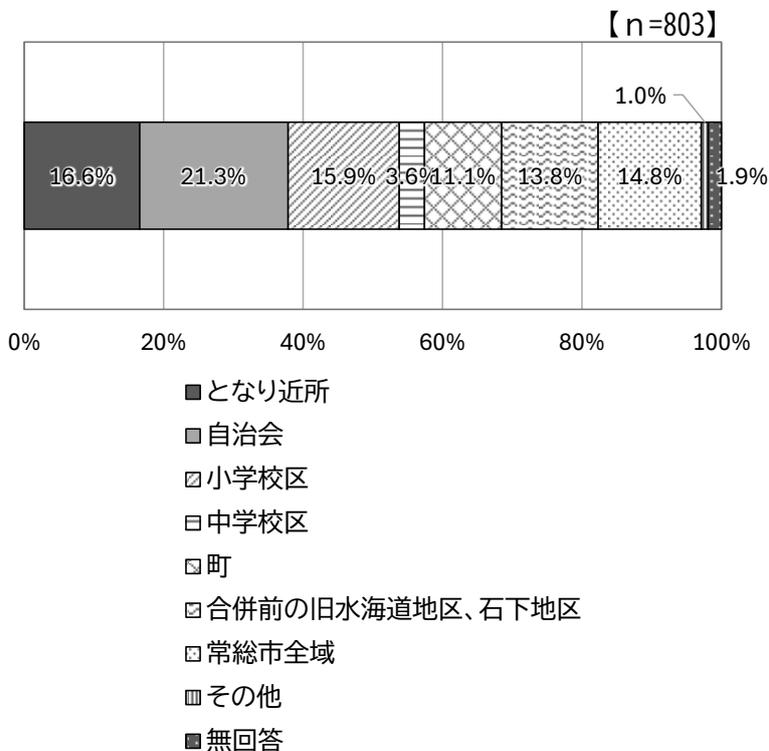
○居住歴については、「生まれてからずっと」が44.8%、「20年以上」が39.2%で、80%以上が20年以上の居住歴となっています。



地域生活についておたずねします。

問6 あなたが考える「地域」の範囲に最も近いものを1つ選んでください。(1つに○)

○「地域」の範囲については、「自治会」が21.3%で最も多く、次いで「となり近所」が16.6%、「小学校区」が15.9%となっており、半数が歩いていける範囲を地域として認識しています。

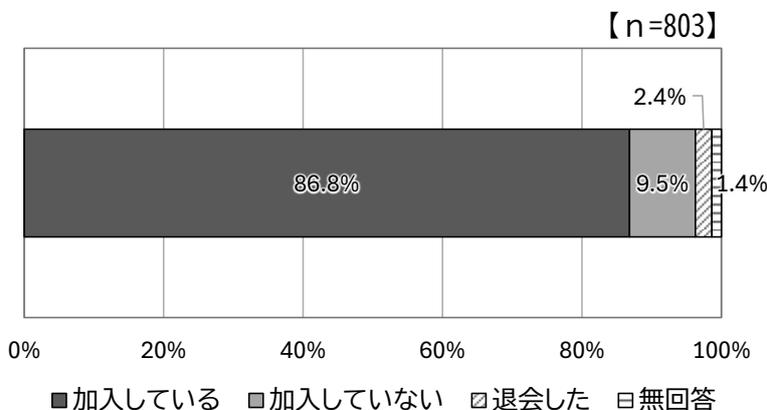


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
138	豊岡地区と水海道地区
309	地元、常総市全域
400	状況による
643	分からない
729	郡から県くらい
739	質問の意味が分かりません。

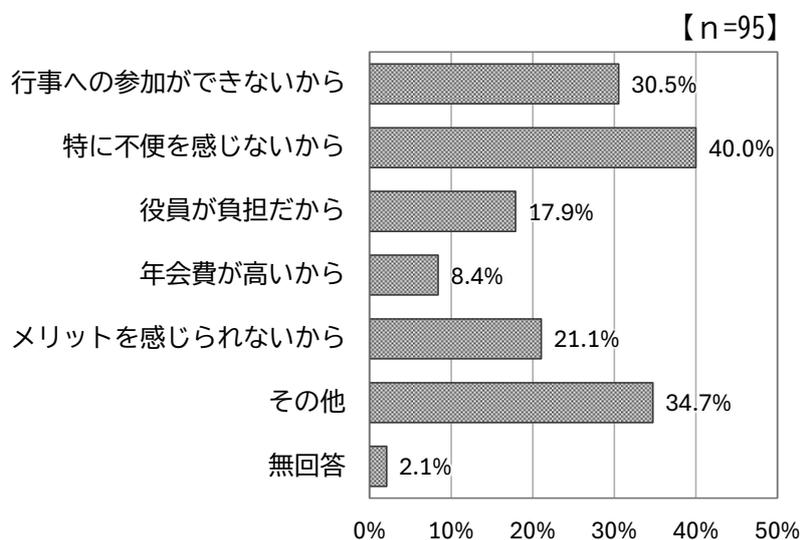
問7 あなたの世帯は自治会に加入していますか。(1つに○)

○自治会への加入については、「加入している」が86.8%、「加入していない」が9.5%、「退会した」が2.4%となっています。



問7-1 問7で「2.加入していない」、「3.退会した」とお答えの方に伺います。それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

○加入していない理由については、「特に不便を感じないから」(40.0%)が最も多く、そのほか、「行事への参加ができないから」(30.5%)、「メリットを感じられないから」(21.1%)、「役員が負担だから」(17.9%)などとなっています。

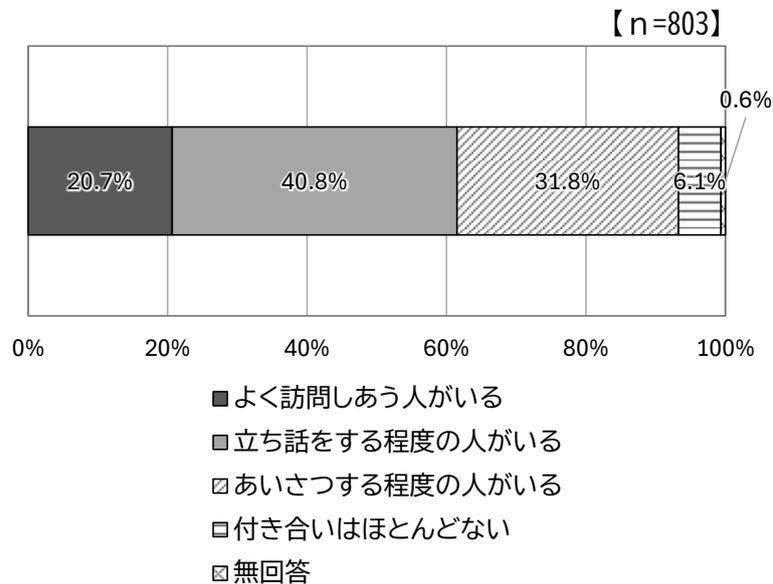


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
19	アパートだから
27	主人の親が入っていないから
35	夫の実家で加入。こちらで参加している。
84	考え方の違い
208	自治会役員が私腹を肥やしていたから
299	年を取ったから
309	知らなかった
313	妻の実家が近く、そちらで加入済で我が家でも年会費などは払っているの。
354	息子が自治長
388	自治会の仕組みがよく分からないから
428	やらない。口ばかり。相手にしない。
496	施設生活のため
525	親が加入しているから
567	わからない
587	親が加入しているため
607	自治会としての会費はない。市内清掃と区長があるだけ
643	分からない
712	制度に問題有ると意思決定が機能していない。 区長を担う人が金銭目的と感じる。
725	隣に住む親が加入しているから
729	組織が考えている在り様に対応できないし、したくない
750	わからない
754	集合住宅だから
770	親が加入している
776	アパート暮らしのため
787	息子に移行
789	アパートだから
790	よくわかんないから
794	引っ越しの可能性があるため、長期的に現在の場所へ住む可能性がないため

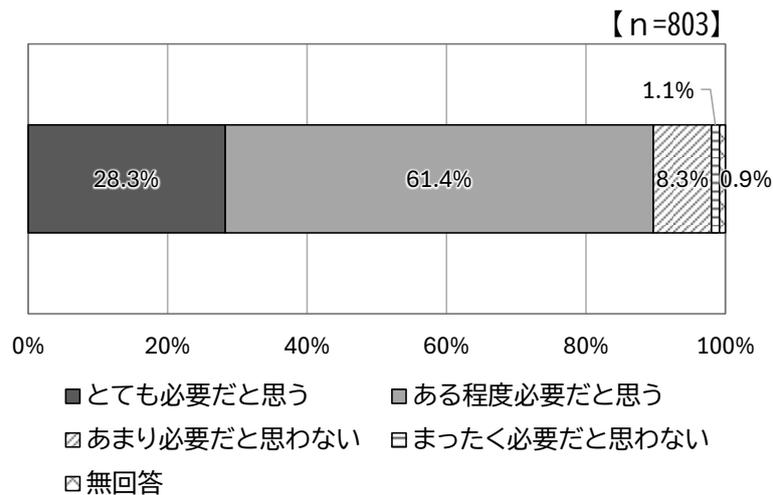
問8 ご近所とはどのようなお付き合いがありますか。(1つに○)

○近所との付き合いについては、「立ち話をする程度の人がいる」が40.8%で最も多く、次いで、「あいさつする程度の人がいる」が31.8%となっており、「よく訪問し合う人がある」は20.7%となっています。



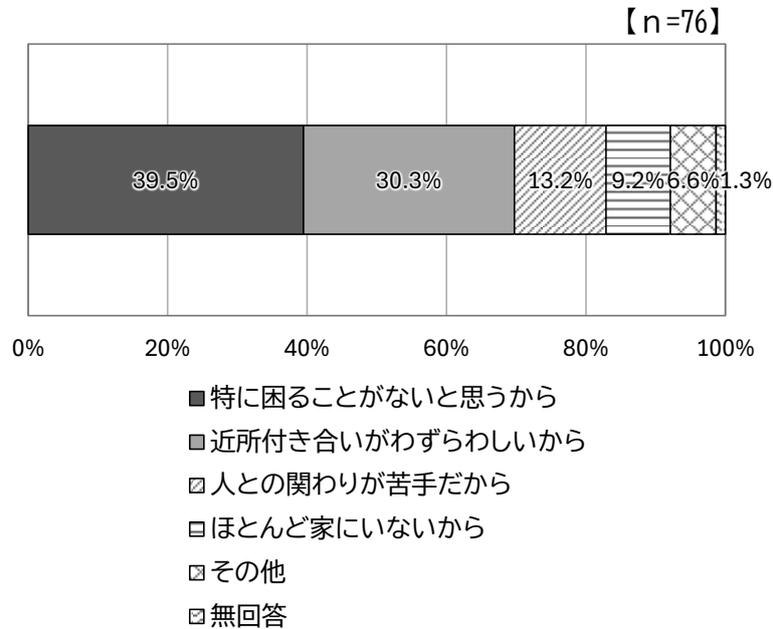
問9 ご近所による支え合い、助け合いの必要性をどう思いますか。(1つに○)

○近所との付き合い、助け合いの必要性については、「ある程度必要だと思う」が61.4%で最も多く、「とても必要だと思う」(28.3%)を合わせると、90%近くが支え合い、助け合いの必要性を感じています。



問9-1 問9で「3.あまり必要だと思わない」、「4.まったく必要だと思わない」とお答えの方に伺います。主な理由を教えてください。(1つに○)

○必要だと思わない理由については、「特に困ることがないと思うから」(39.5%)、「近所付き合いがわずらわしいから」(30.3%)が多くなっています。



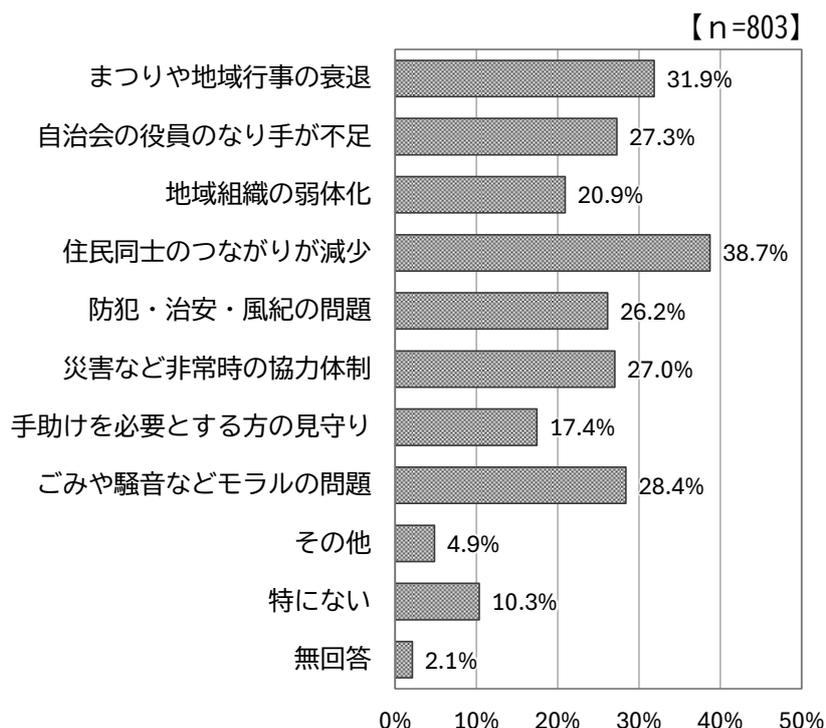
◆その他の意見

回答者No.	記述内容
138	あいさつしたり、立ち話をちょっとすることはあるが、依存してはいない。
383	朝早くから迷惑だから
428	人間関係信頼していない。もっとも大嫌い。
669	同世代がない
729	個人の価値観が多様化しすぎて、合わせるのが面倒くさい

問 10 身近な地域をみて、気になること、問題と感ずることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

○身近な地域の気になること、問題と感ずることについては、「住民同士のつながりが減少」(38.7%)が最も多く、そのほか、「まつりや地域行事の衰退」(31.9%)、「ごみや騒音などモラルの問題」(28.4%)、「自治会の役員のなり手が不足」(27.3%)、「災害など非常時の協力体制」(27.0%)、「防犯・治安・風紀の問題」(26.2%)などとなっています。



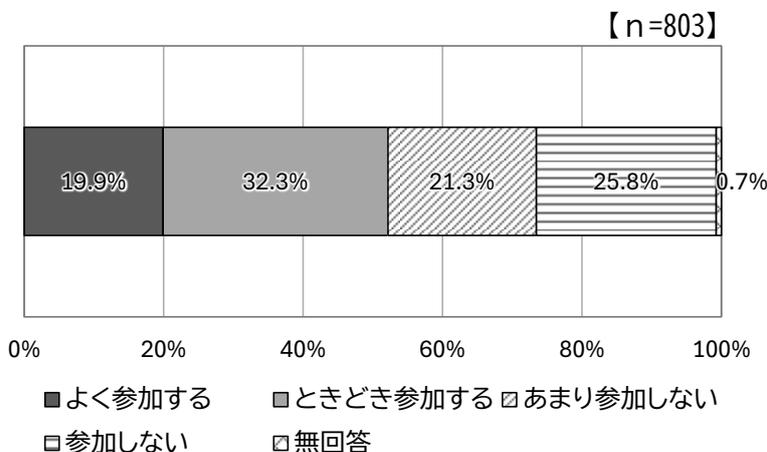
◆その他の意見

回答者No.	記述内容
26	空き家問題。市長は防犯上撤去して欲しい。条例化して義務化してはいかがか。
37	猫が増えていて、敷地内にフンをされたり困っている。近所に餌を与えている人がいる？
43	当方の班には外国の家族が6軒居住しておりますが、全然交流がなく、清掃にも参加しません。入居の時にご指導していただきたいです。
62	高齢化
185	外国人のモラル
189	民家から植木が伸びていて、道路の方まで飛び出して、迷惑している
201	野鳥のフン、羽毛
203	祭りはいらぬ
229	人口の減少
230	村香典の強制徴収、祭りへの半強制徴収、自治会費の不透明な会計
231	雑草・枝木などの問題
243	子どもの激減
307	外国人が近所に住むようになったので不安がある。

331	次の世代の減少により、自治会の複数役員の義務
336	空き家の敷地に雑草がすごい
349	少子化
365	路肩の雑草管理
381	高齢化
385	風習を守ろうとする圧力が異常。昔ながらのやり方で、見直そうという気がないあたり。
388	路線バス、JOYBUS
408	圏央道の騒音が酷い
428	いろいろ
607	交通手段がなく、高齢者が不便→買い物など
630	街灯が少なすぎる
634	白サギによる被害
659	高齢化
660	高齢化、新しい技術への順応度が低い
669	自治会、班等の役割の必要性がないと思う。古い習慣であり、広報等も月に何回も不要。定期的に班長も回ってきて、ただ普通に暮らしたいのに面倒な仕事が増える。集金等も以前住んでいた街にはなかった。住んでいるだけで色々徴収されるのはどうなのか。定年後の方々にはいい近所付き合いなのかもしれないが、反対だ。
706	子供の数が少なく、子供会での活動が今までのようにできなくなってきた。
712	市の行政を含めて、時代に合わないスタイル&制度で運用されている。
725	子供が少なくなっている
729	問題発生時に、共通認識が持てない。解決の話し合いが出来ない。
730	昔からやっているという押し付け デジタルは分からないからっていう拒否 時代錯誤も甚だしい
754	現住所にはまだ4年しかいないし、市報も回らないので行事も連絡も全く分からない
772	高齢者世帯が多い。
794	子供が少ない

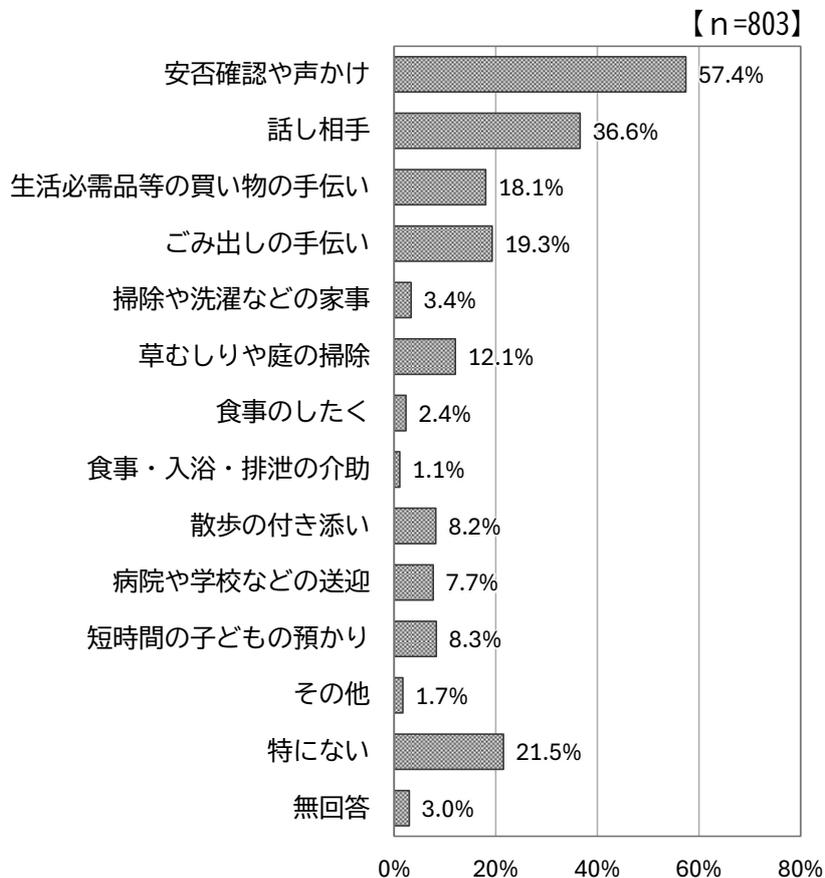
問 11 地域や自治会の手伝い、ボランティア活動などに参加していますか。(1つに○)

○地域や自治会の手伝い、ボランティア活動などの参加については、「ときどき参加する」が32.3%、「よく参加する」が19.9%で、参加経験を有する人が50%を超えています。



問 12 ご近所に介護や病気、子育てなどで困っているご家庭があったら、あなたにできそうなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

○困っているご家庭への支援については、「安否確認や声かけ」が57.4%と最も多く、次いで「話し相手」36.6%となっています。

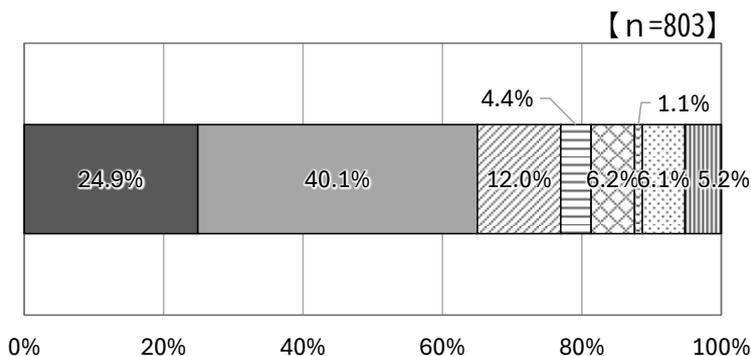


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
2	近所にあてはまる家庭がない
18	近所の人にも個人情報があるので、言えないこともある。
20	地元じゃないので知らない
77	困っていることがわからない
132	相手の要望に応えられるか？
348	自分自身が高齢で医者通いもしている状況
399	介護を受けている
437	近所にそういう人がいない
607	助けたい気持ちはあるが、実際には自分の家庭と仕事でいっぱい、出来ていない。(皆、同じ?)
729	価値観が違う人とは、踏み込んだ付き合いが出来ない。責任が取れない。時間も無い
733	定年後なら、できる範囲ですが、可能だと思います。
739	私が頸髄損傷で平成元年の夏から完全車椅子生活者。
754	出来そうなことはありそうだが、時と場合によるし、まずは離れた親を見ないといけない
786	入院中のため

問 13 災害が起きた場合、地域で暮らす高齢者や障がいのある方、乳幼児のいる家庭などについて、あなたはどのような行動ができると思いますか。（1つに○）

○災害が起きた場合にできる行動については、「まず自分の安全を確保し、その上で助けられるようであれば助け合う」が 40.1%と最も多く、次いで、「いざとなったら、声を掛け合って助け合えると思う」が 24.9%となっています。



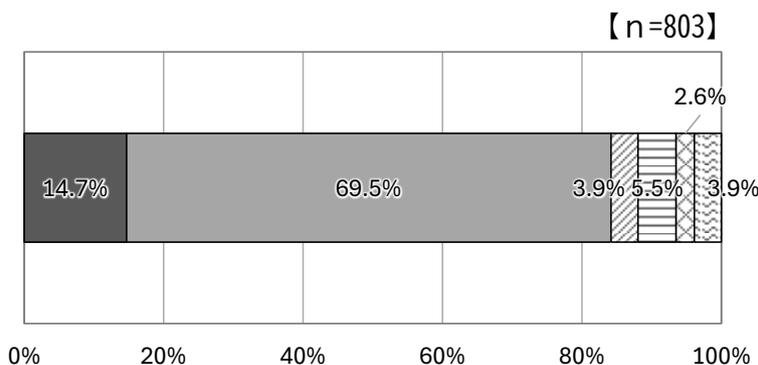
- いざとなったら、声を掛け合って助け合えると思う
- まず自分の安全を確保し、その上で助けられるようであれば助け合う
- 自分ひとりで助けられるかどうかは不安
- 助け合うことは難しい
- 地域にそういう人がいるか、わからない
- その他
- わからない
- 無回答

◆その他の意見

回答者No.	記述内容
333	犬・猫がいるため、避難できない
394	うちに障がい児がいるため、他人のことまで考えが及ばない
428	家族の確認。いたらその上で助け合います。
430	自身が被介護者のため、できない
607	災害の大・小により、実際その時になってみないと、なんとも言えないが、出来れば助け合いたい（皆、同じ？）
669	乳幼児等はこれからがあるので助けるなど、取捨選択はすると思う。
729	目の前で、助けを求められるようなことが無い限りは、手出しできない。
733	出来るとすれば、家族の安全が確保出来てから、
754	まずは近くに住む自分の親を優先すると思う

問 14 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨では、常総市内に甚大な被害が生じました。この災害の前後で、地域のつながりが変化したと感じますか。(1 つに○)

○関東・東北豪雨以降の地域のつながりの変化については、「災害の前後で地域のつながりに変化はないと思う」が 69.5%と最も多くなっていますが、「災害後、地域のつながりが強くなったと思う」という回答も 14.7%となっています。



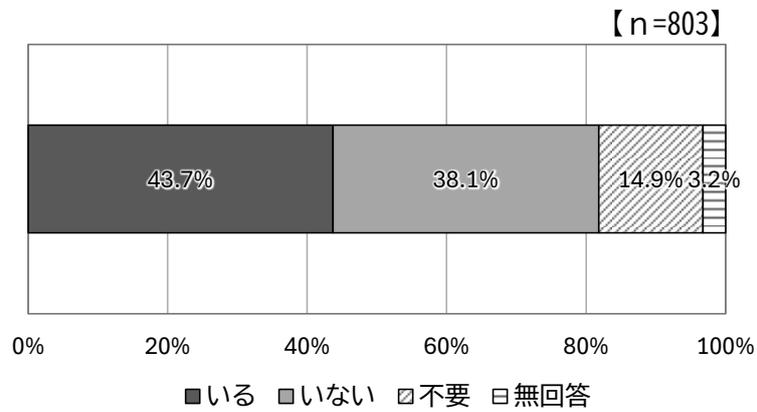
- 災害後、地域のつながりが強くなったと思う
- 災害の前後で地域のつながりに変化はないと思う
- ▣ 災害後、地域のつながりが弱くなったと思う
- 災害後に転居してきたため比較できない
- その他
- ▣ 無回答

◆その他の意見

回答者No.	記述内容
27	災害の場所や人によると思う
105	わからない
336	災害の一年前に転居のため、よくわからない
348	急に体調に変化が生じ、足腰が弱くなり、地域のつながりがなくなった。
371	この時は淵頭に住んでいたもので、住まいもかなりの被害にあいましたが、かなりつながりがありました。
413	コロナ後、つながりが弱くなったと思う
428	わからない
496	特に感じない
501	参加していないのでわからない
510	災害時は助けあったが、時が過ぎ、以前のように深い付き合いは少なくなった。
551	わからない
556	被害がなかったので、変化なし
643	分からない
777	覚えてません！

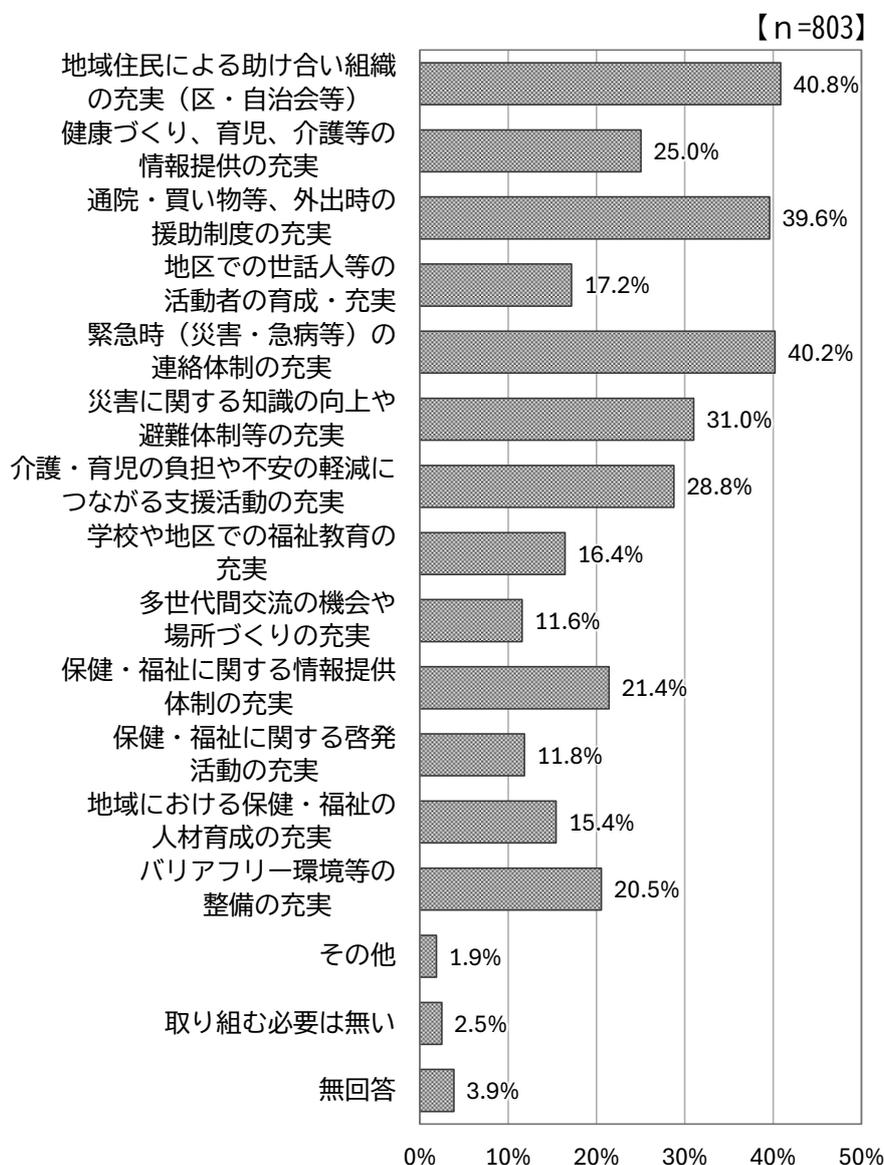
問 15 災害時や緊急時に避難するとき、身近な地域の中で、避難の誘導などあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(1つに○)

○災害時や緊急時に手助けをしてくれる人の有無については、「いる」が43.7%、「いない」が38.1%となっています。



問 16 今後、あなたの住んでいる地区の福祉を向上させるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○住んでいる地区の福祉を向上させるための取り組みについては、「地域住民による助け合い組織の充実(区・自治会等)」(40.8%)、「緊急時(災害・急病等)の連絡体制の充実」(40.2%)、「通院・買い物等、外出時の援助制度の充実」(39.6%)などとなっています。



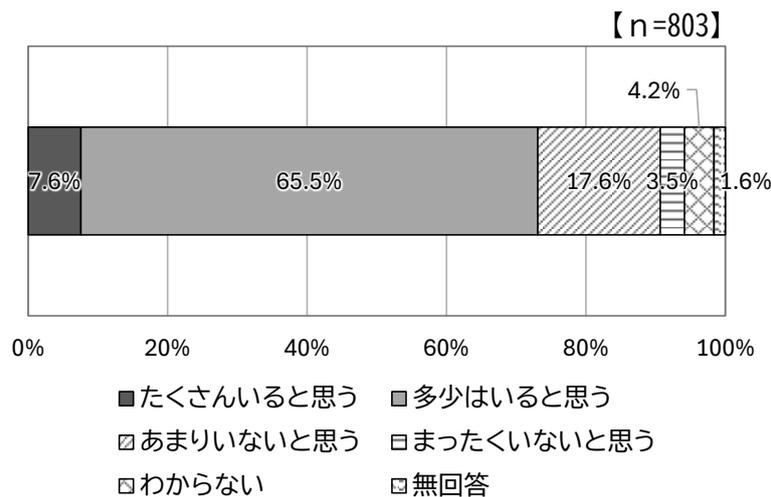
◆その他の意見

回答者No.	記述内容
62	歩道の整備
97	向上させる前に、1人1人の生活の安定化、家庭持ちと1人暮らしの給料の税金を同じにしないと。職安だけでなく役所でも仕事の紹介
98	スマートシティ的に福祉の届く地区を整備する。
149	災害を想定し、避難演習を市が主体となって実施する。これで地域の交流も深まると思う。
305	ヤングケアラー対策
333	動物と人間が共生
380	子どもを通じた親同士の関係を良くする。地域の人口増加への取り組み。
408	空き家、空き地、耕作放棄地等の対策（環境問題等の対応策）
413	今のままでいいと思う。あまり人に立ち入ってもらいたくない。
486	シルバーカーやベビーカー、車いすで移動しやすい歩道整備
643	分からない
664	福祉の提供対象の厳格化
669	交通の整備。JOYバスの開通は大きな一歩だが、便利かと言われたら微妙。駅までの交通にしては時間がかかりすぎる。使われていない土地等があるにも関わらず、その間に道路を通すので、つくば市のように車で走るだけでいい街だなと思える街に整備してほしい。 私ごとだが、戸建てと土地代や育児の面で私の親世代の手助けをお願いする事情で常総市を選んだが、買い物も基本的にはつくば市内でしている。車で行ける距離にしか買い物施設がないし、魅力的な店もつくば市内にしかない。周りの市からも買い物客が来るような店舗を増やしてほしい。
729	モラルの乖離が進んだ状況で、責任の所在をいい加減にしたままで行うべきでない
733	健康を維持するためのコミュニティ作り

こころの健康についておたずねします。

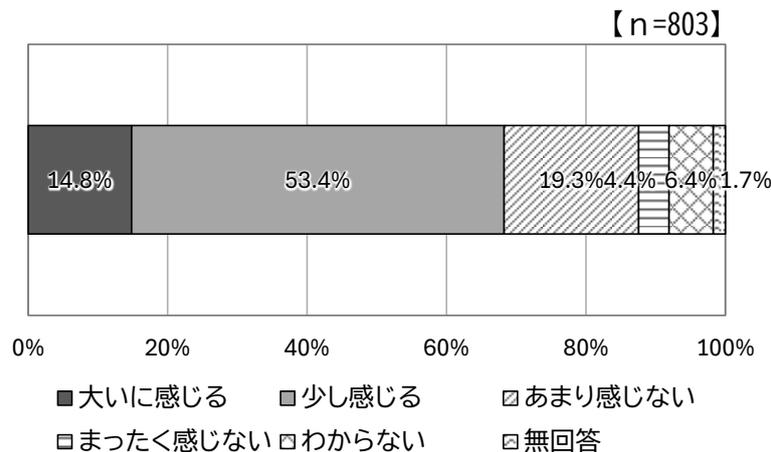
問 17 あなたは、自分の不満や悩み、つらい気持ちを受け止めてくれる人はいると思いますか。  
(1つに○)

○自分の不満や悩み、つらい気持ちを受け止めてくれる人の有無については、「多少はいると思う」が 65.5%と最も多く、「たくさんいると思う」(7.6%)を合わせると、70%以上がいると回答しています。一方、「あまりいないと思う」(17.6%)、「まったくいないと思う」(3.5%)で 20%がいないと回答しています。



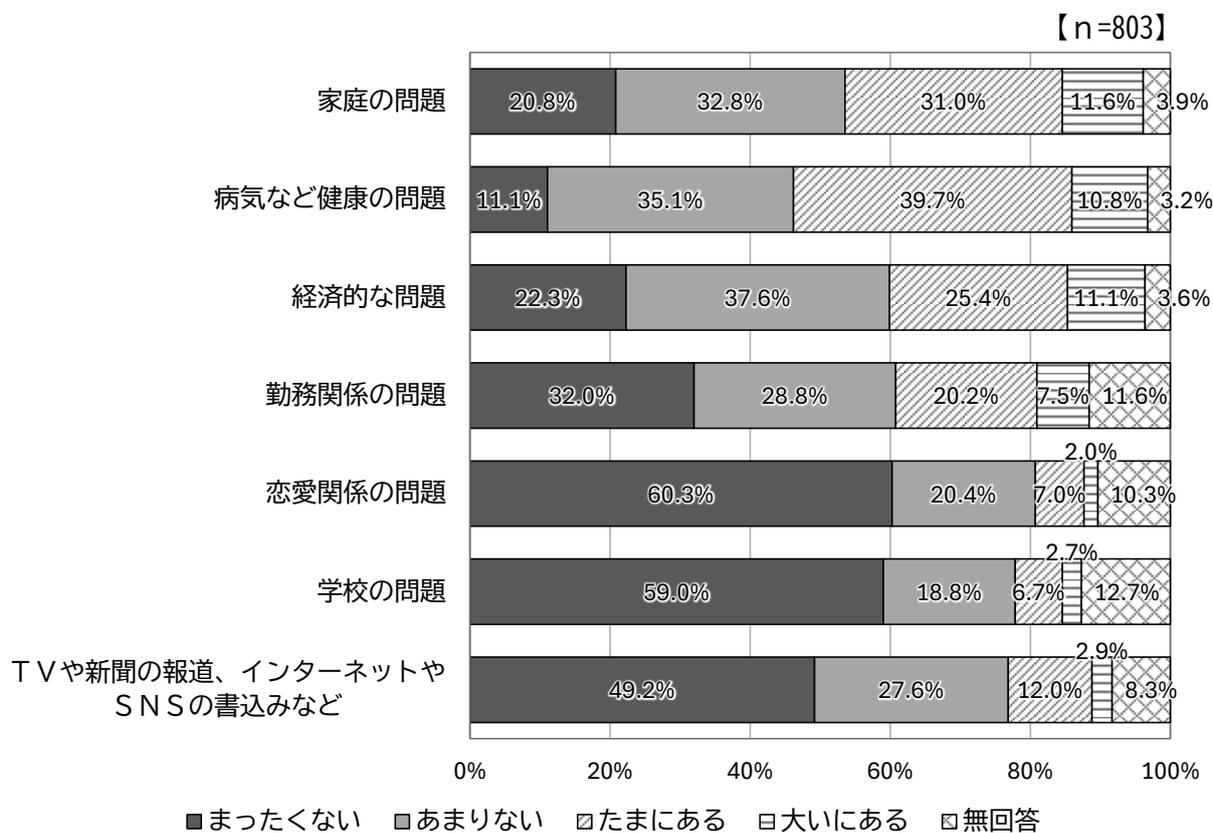
問 18 あなたは、悩みを抱えたときなど、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。(1つに○)

○相談や助けを求めたりすることに対するためらいについては、「少し感じる」が 53.4%で半数を超えており、「大いに感じる」(14.8%)を合わせると、70%近くがためらいを感じると回答しています。



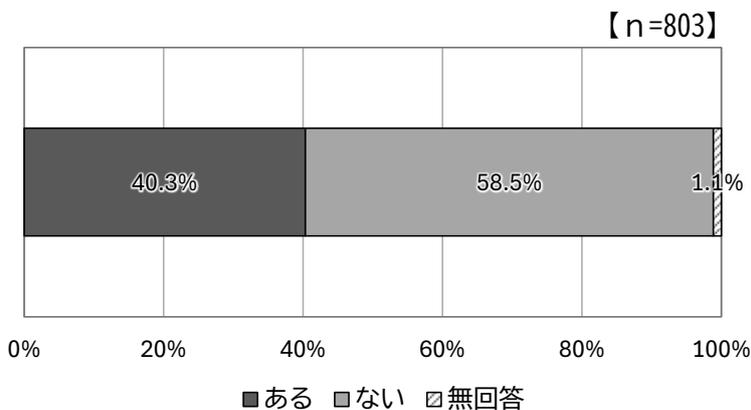
問 19 あなたは、日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じることがありますか。  
 (○はそれぞれ1つ)

○日頃、悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題については、「病気などの健康の問題」、「家庭の問題」、「経済的な問題」などが多くなっています。



問 20 あなたは、悩みや困りごと、強いストレスを感じた時に、家族や親せき以外に相談した経験がありますか。(1つに○)

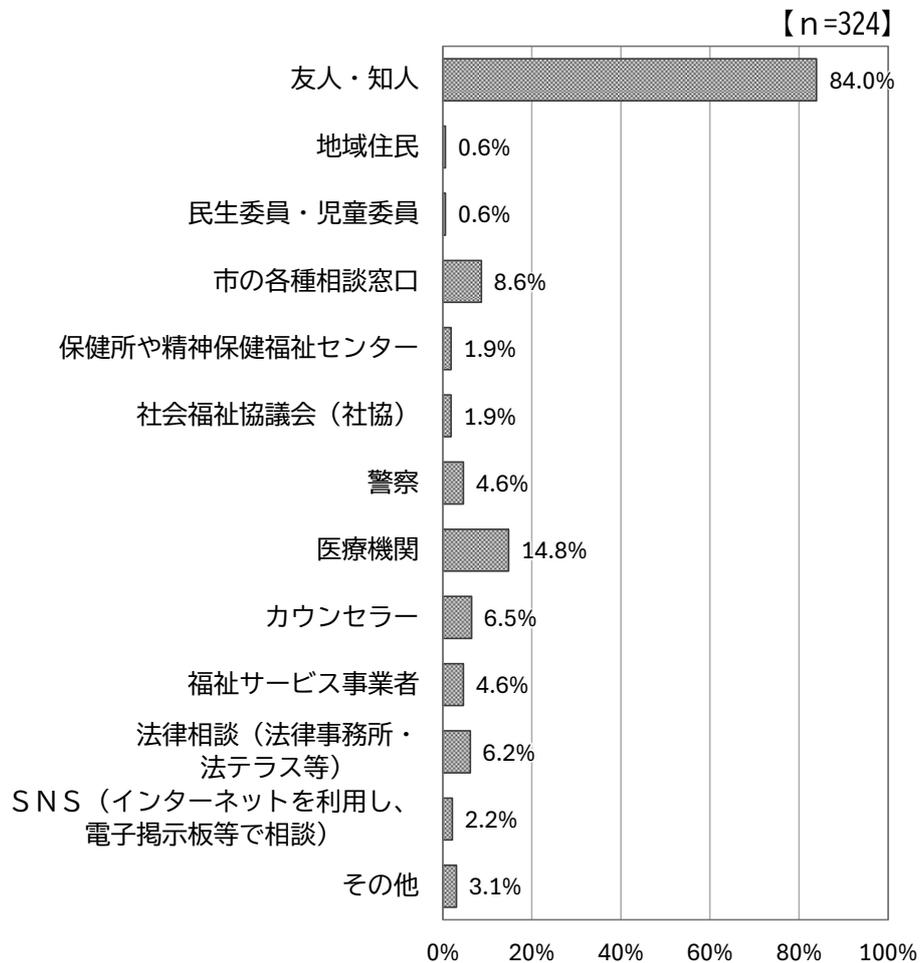
○家族や親せき以外への相談経験については、「ない」が58.5%、「ある」が40.3%となっています。



問 20-1 問 20 で「1. ある」とお答えの方に伺います。具体的にどこに相談しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

○相談した相手については、「友人・知人」が 84.0%と最も多く、そのほかは、「医療機関」、「市の各種相談窓口」などとなっています。

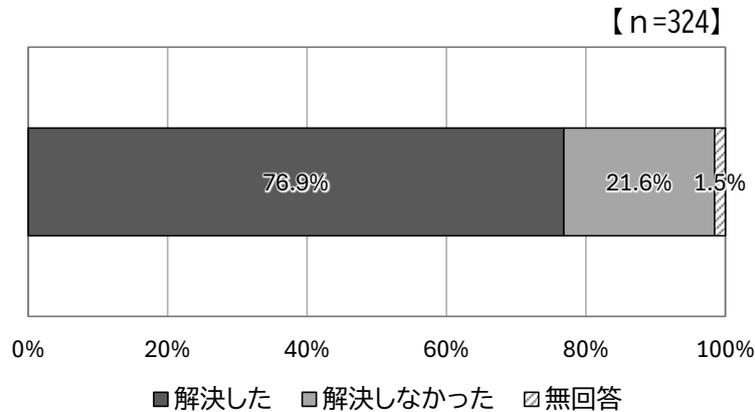


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
101	上司
119	税理士
143	労基
170	弁護士
388	職場の上司
641	家族
731	妻
771	県の LINE 相談
778	妻

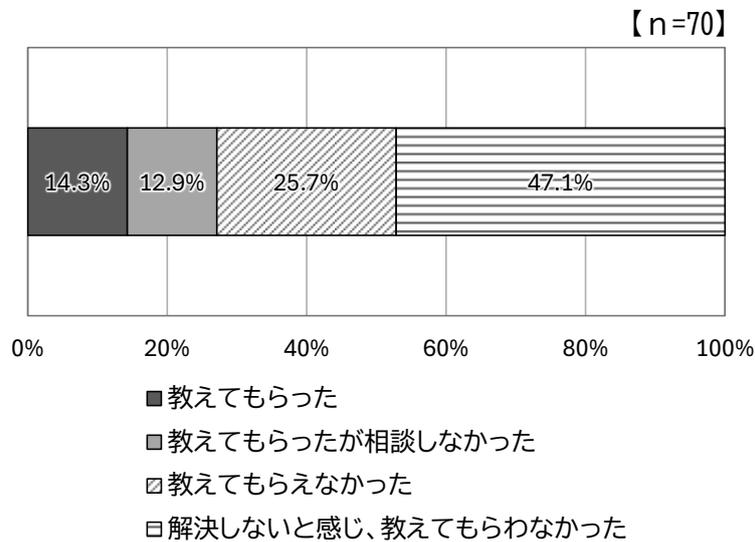
問 21 相談した後どうでしたか（1つに○）

○相談した結果については、「解決した」が76.9%、「解決しなかった」が21.6%となっています。



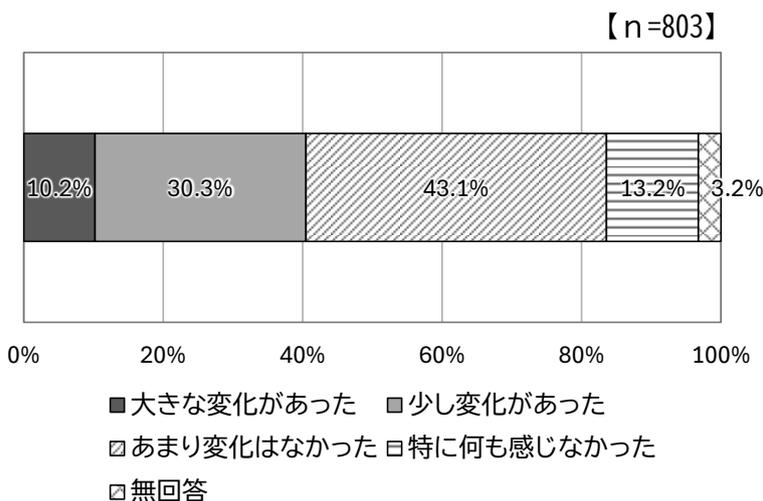
問 21-1 問 21 で「2. 解決しなかった」とお答えの方に伺います。別の相談機関を教えてくださいましたか。（1つに○）

○別の相談機関の紹介については、「解決しないと感じ、教えてもらわなかった」が47.1%と最も多く、次いで「教えてもらわなかった」が25.7%で、70%以上が教えてもらわなかったと回答しています。



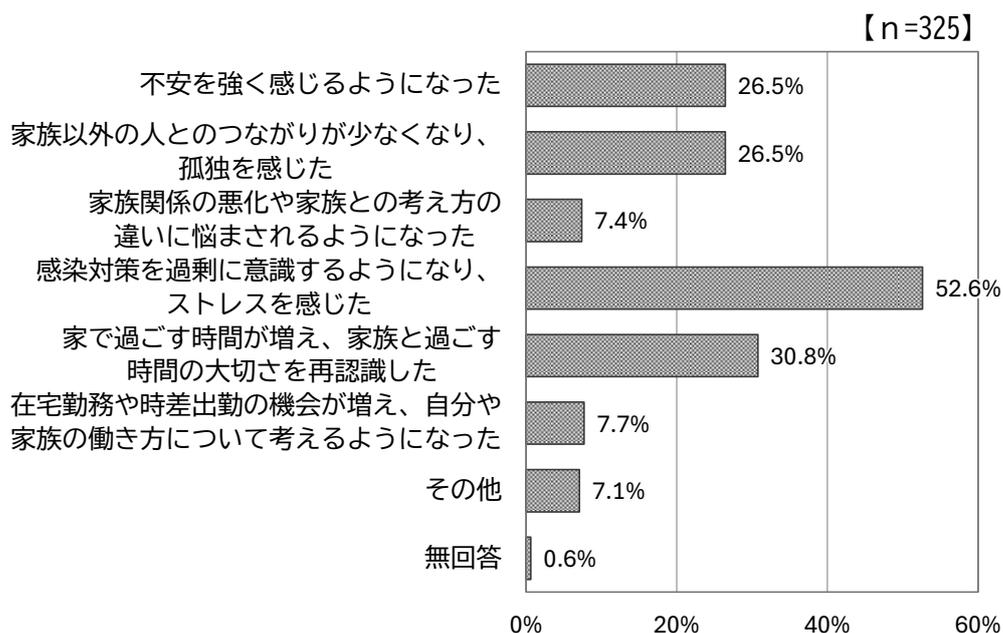
問 22 新型コロナウイルス感染症流行以降、あなた自身や身近な人の心情や考えに変化がありましたか。(1つに○)

○新型コロナウイルス感染症流行以降の心情や考えの変化については、「あまり変化はなかった」(43.1%)が最も多くなっていますが、「少し変化があった」(30.3%)と「大きな変化があった」(10.2%)を合わせると、約40%が変化があったと回答しています。



問 22-1 問 22 で「1. 大きな変化があった」または「2. 少し変化があった」とお答えの方に伺います。あなたご自身に具体的にどのような心情の変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

○具体的な変化の内容については、「感染対策を過剰に意識するようになり、ストレスを感じた」が52.6%と最も多く、次いで、「家で過ごす時間が増え、家族と過ごす時間の大切さを再認識した」が30.8%、「不安を強く感じるようになった」、「家族以外の人とのつながりが少なくなり、孤独を感じた」がともに26.5%などとなっています。

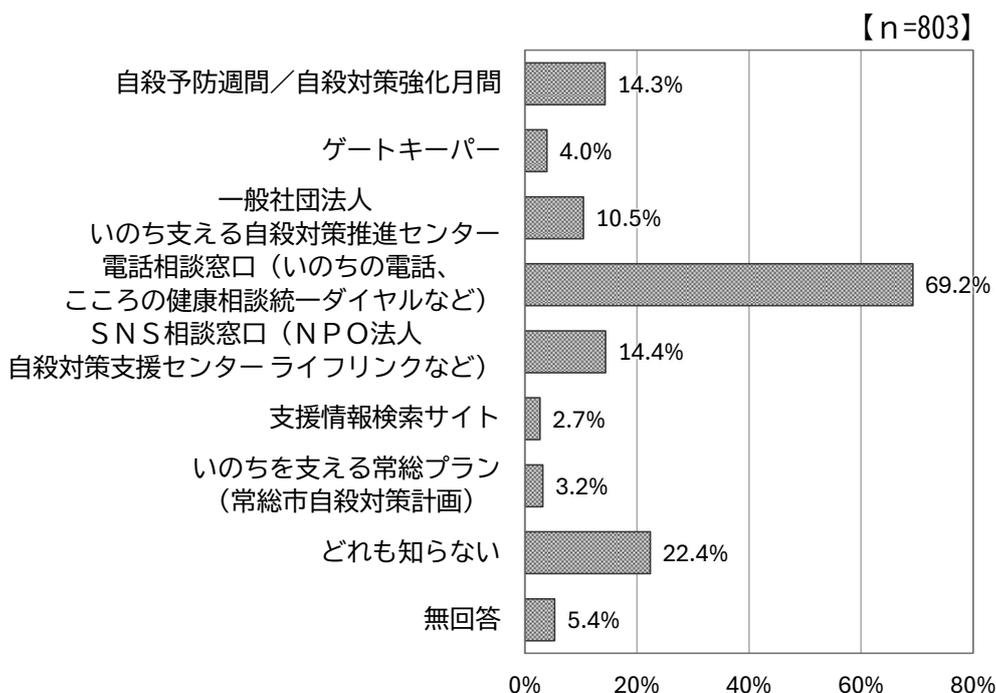


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
15	遠方への外出が少なくなった
58	古い習慣にとらわれなくなり、気持ちが楽になった。
126	葬儀に関しては家族で見送るのがベスト。義理は必要ない。
164	新型コロナウイルス流行時の方が、人と会うことがなく、気持ちが楽だった。
179	趣味等での友人との関わり、会話等、外出等が自分の精神の糧になり、張りをもたせてくれるのを痛感した。
249	外出の際の感染対策に気をつけるようになった。
255	感染対策を少し考えるようになる。
262	発熱に関して、医療環境が劣悪だった
273	家族との時間が減り、会話が少なくなった。
309	コロナに関する情報が多すぎる（デマなどを含めて）
334	行事が減ったり簡素化されて気が楽だった。（最近は元に戻ってきて、再びストレスを感じる）
349	外に出る（旅行など）の機会が減った。いろいろなことに敏感になっている。
376	具合が悪くなった時、コロナかもと感じる
413	不安を感じる。外出時は常にマスクをするようにしている。
486	家に家族以外を入れたくないと思うようになった。
524	家族と触れる機会が減った。
607	入院している親の見舞いに行けず、寂しい思いをさせた事がストレスになった。
644	近所の人と交流が少し減った。減ったことでほっとする部分もある。
666	私自身は特に変化なし
730	今までやっていた事をやらなくても問題なかったなので、不要な事だと認識する事がたくさんあった
750	不安を少し感じるようになった
777	私には変化はなかった。

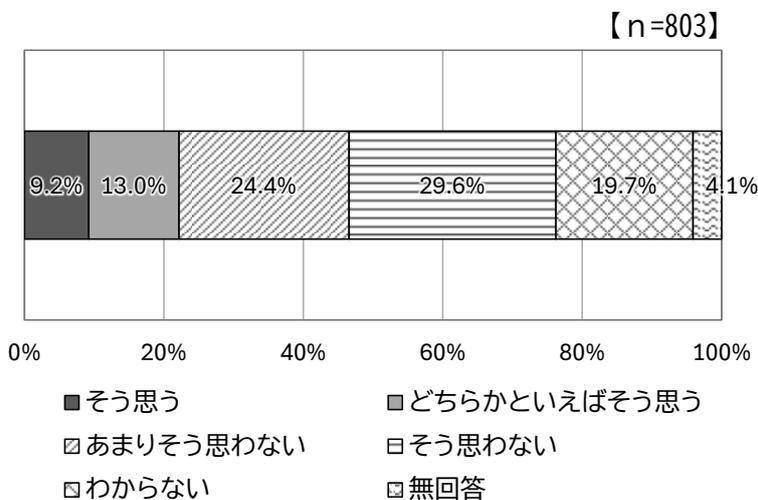
問 23 あなたは、国の自殺対策に関する以下の事柄について、ご存じですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

○国の自殺対策の認知度については、「電話相談窓口（いのちの電話、こころの健康相談統一ダイヤルなど）」が 69.2%と最も多くなっていますが、「どれも知らない」も 22.4%となっています。



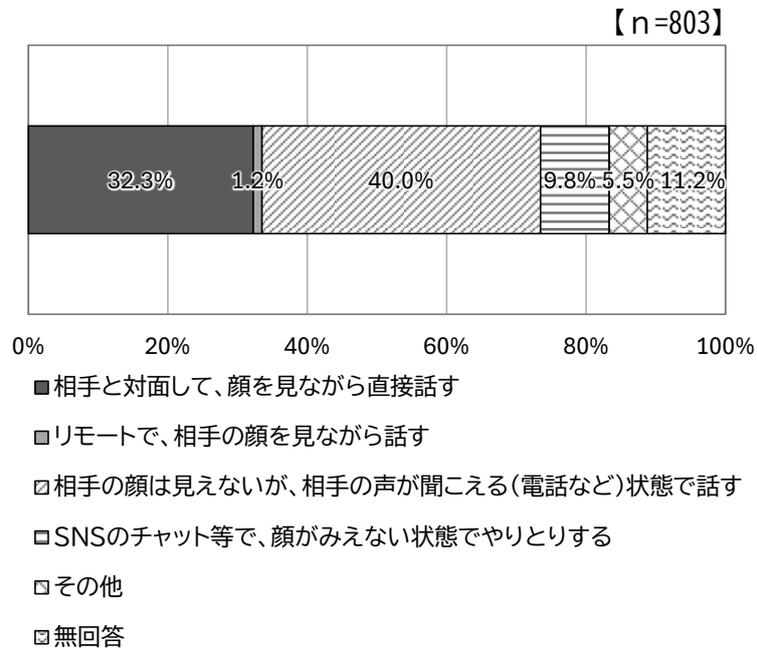
問 24 自殺対策は自分自身に関わる問題だと思いますか。（1つに○）

○自殺対策が自分自身に関わるかについては、「そう思わない」が 29.6%と最も多くなっていますが、「そう思う」（9.2%）と「どちらかといえばそう思う」（13.0%）を合わせると、約 20%が自分自身に関わると回答しています。



問 25 仮に自殺やそれに近いことを考えたとき、最も相談しやすいと思う手法は何ですか。(1つに○)

○自殺などを考えたときに、最も相談しやすいと思う手法については、「相手の顔は見えないが、相手の声が聞こえる(電話など)状態で話す」(40.0%)、「相手と対面して、顔を見ながら直接話す」(32.3%)が多くなっています。



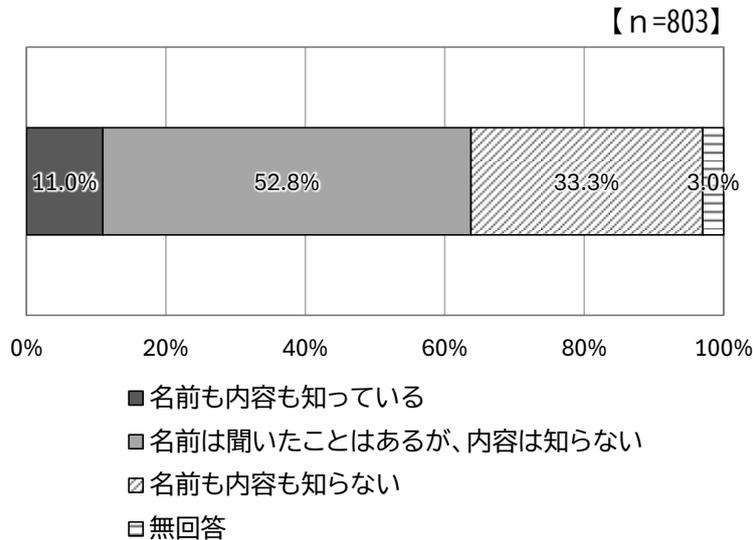
◆その他の意見

回答者No.	記述内容
20	相談員とつながらなくて、相談をやめたことがある。
42	現実的には考えたことがないし、難しい
74	相談しない
88	自主的に相談できるなら、そもそも自殺は考えない。周囲で気づいた人が相談することを勧めてくれた中の数%が相談にたどり着く。その中でも有効なのは3か4と思う。
99	特になし
119	わからない
149	わからない
160	家の人
167	別に考えません
185	相談しない
197	分からない
201	もしそんな気持ちになったとしたら、人に相談なんかしないのではないかな。
213	自分で自分自身に問いかける
218	わからない
233	家内と相談
248	自殺は自分は考えない
339	考えたことがない
348	わからない
395	わからない
413	まず自殺は考えない。いつか必ず人間は死ぬ。その時までの命
433	わからない
437	わからない
491	あまり思った事がない
501	相談できない
561	相談できないと思う
564	わからない
583	自殺する気はない
625	わからない
643	知らない
644	よくわからない
728	自殺考えたら死ねばいい
739	質問の状況が不明。
741	相談しないと思う
774	分からない
801	相談しない

福祉分野の制度やサービスについておたずねします。

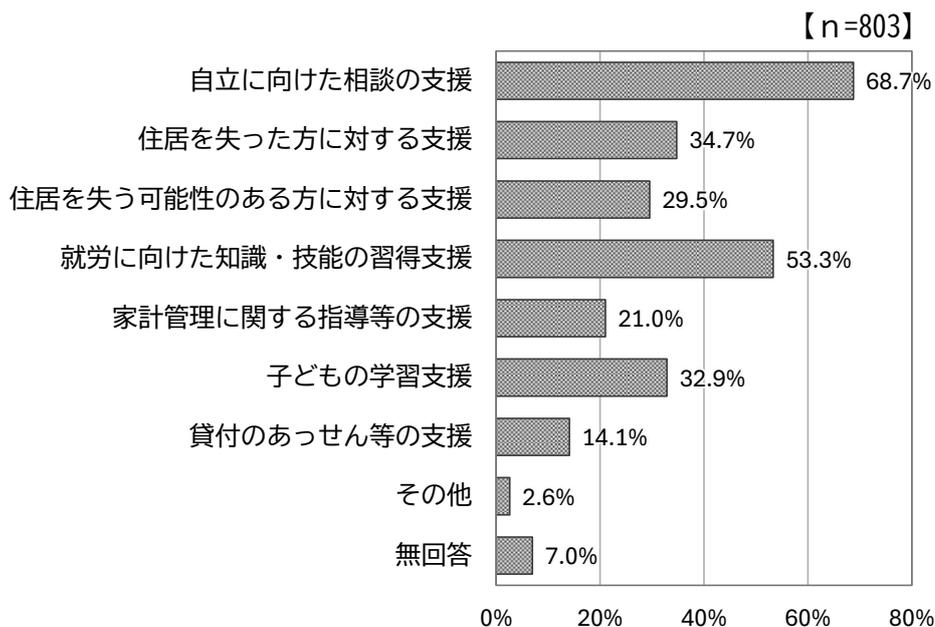
問 26 あなたは、生活困窮者自立支援制度を知っていますか。(1つに○)

○生活困窮者自立支援制度については、「名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」が52.8%と半数を超えており、「名前も内容も知らない」が33.3%、「名前も事業内容も知っている」は11.0%となっています。



問 27 生活困窮者に対して、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○生活困窮者に対する支援については、「自立に向けた相談の支援」(68.7%)、「就労に向けた知識・技能の習得支援」(53.3%)などが多くなっています。

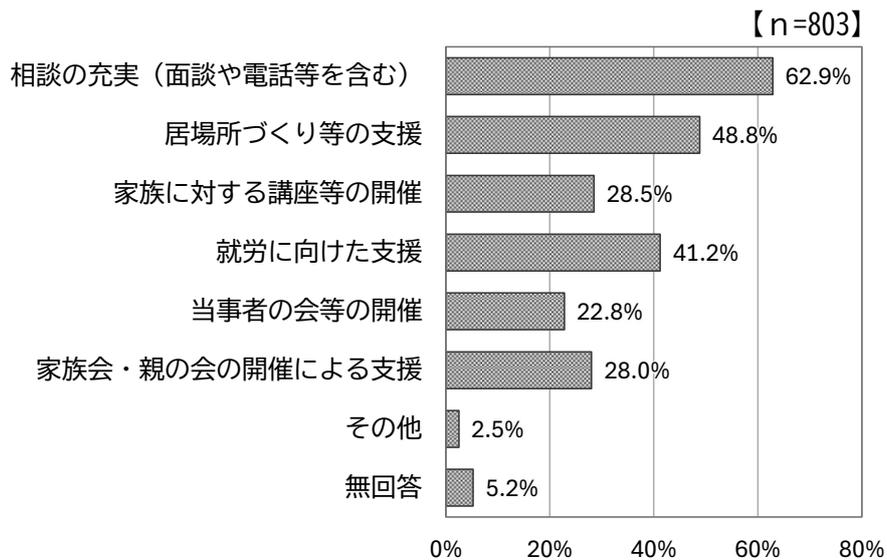


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
27	各々の家庭に見合った多方面からの支援
97	無利子の貸付。給料の安い人へ
138	精神的に自立できる方法を教える。
218	わからない
324	勤労に対する意欲を作る？
334	意識を変える。「生活保護を受けたい」ではなく「自立したい」の方向へ
501	衣・食・住
587	支援なし
607	衣・食の配給→無償です。
643	分からない
728	強制労働
729	無意味なバラマキ反対。対象者のしっかりした調査。感謝の無い者への援助は社会の害悪にしかならない。
730	税金無償
733	就労先を補助するなどの支援
786	わからない

問 28 ひきこもりの方やその家族に対して、どのような支援が必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

○ひきこもりの方や家族に対する支援については、「相談の充実（面談や電話等を含む）」（62.9%）、「居場所づくり等の支援」（48.8%）、「就労に向けた支援」（41.2%）などが多くなっています。

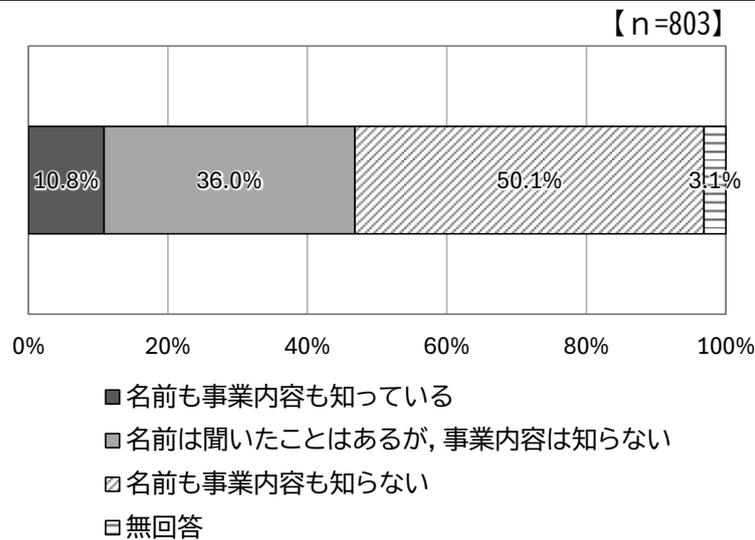


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
18	理解してあげることだと思う。自殺しないことにこしたことはない。
27	幼少期からの親子の関わりの充実。子への子育て方法見直し、改善。
88	4の継続支援。コミュニケーションスキル向上の支援。社会の中に自分を必要としている人があることを知る機会を学生のうちから用意してほしい。自己肯定感が下がる現状の教育方針がそもそも間違っている。
97	ほぼいじめが原因。人間関係。まずは本人の趣味の世界を広げる
154	市の担当者による定期的訪問。一人暮らし生活者に対する定期的訪問
309	引きこもった理由の解決
361	わからない
383	医者
583	本人にも問題があるかもしれないという考え
587	支援なし
625	わからない
630	必要なし
643	分からない
669	必要なかわからない
728	自力でどうにかしろ。税金の無駄
729	怠けでないなら、病気になるので薬物まで含めた治療が必要。本人には、とんでもない事情なのかもしれないが、その事情を海外の貧困地域に持って行っても同情に値するような内容なら、認めてもよい。そうでないなら、ただの怠けそのもの。選挙の票が欲しい政治家に縋りつくんじゃない！
733	親への支援に当事者が気兼ね無く参加できるような取り組み、環境作り
741	その家族じゃなく、周りに理解してもらおう機会が必要だと思う
764	当事者がカウンセリングに自ら申し込み受けてもらう。行政側はその機会を与える仕組みを作る(まあ無理難題だとは思う)

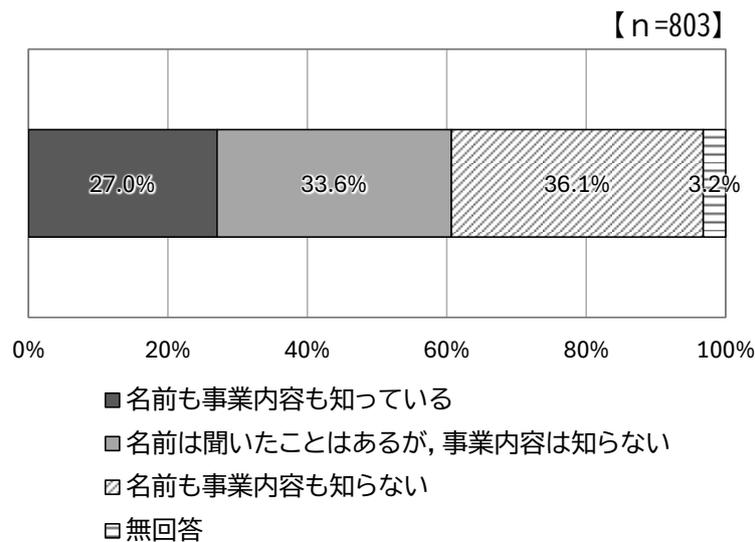
問 29 あなたは、社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業を知っていますか。  
 (1つに○)

○日常生活自立支援事業については、「名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」が 36.0%、「名前も内容も知らない」が 50.1%となっており、「名前も事業内容も知っている」は 10.8%となっています。



問 30 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つに○)

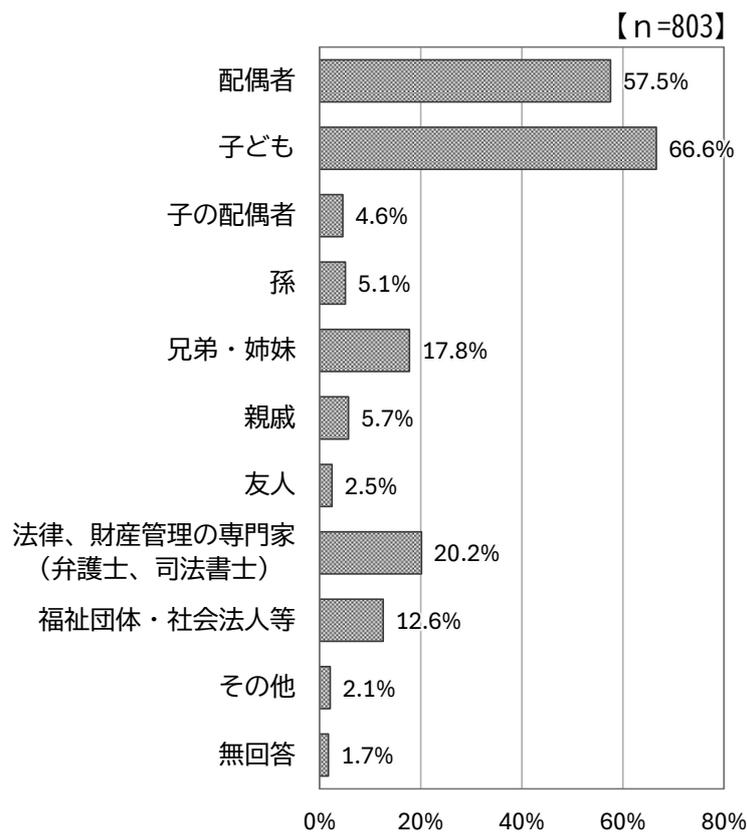
○成年後見制度については、「名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」が 33.6%、「名前も内容も知らない」が 36.1%となっており、「名前も事業内容も知っている」は 27.0%となっています。



問 31 あなたは、認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で、判断能力が不十分となり、お金の管理や契約の手続きなどに支援が必要になった場合、誰に支援をお願いしたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

○判断能力が不十分となった時の支援先の希望については、「子ども」(66.6%)、「配偶者」(57.5%)が多く、家族以外では「法律、財産管理の専門家(弁護士、司法書士)」が20.2%となっています。

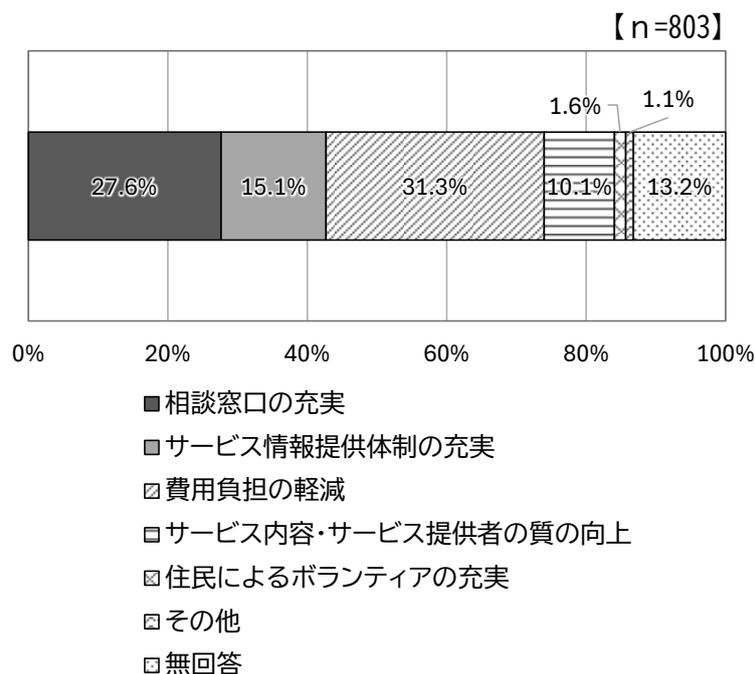


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
88	市民後見。障害に理解のある団体
97	死ぬだけ
293	親
330	親
361	わからない
428	いない
474	パートナー
551	必要ない
630	頼まない
643	分からない
661	その時にそばにいてくれる人
728	駄目だと思ったらもう自殺するわ
729	今後は、公で、低料金で、しっかりした規律で行動する、後見組織が必要。絶対必要。
734	両親
739	信用出来る実績を証明出来る信頼出来る者なら考える
768	実の親
783	頼れる人が居ない

問 32 福祉サービスが必要な方が十分にサービスを受けるために、一番必要とされるものは何だと思いますか。(1つに○)

○福祉サービスを十分に受けるために必要なことについては、「費用負担の軽減」が31.3%と最も多く、次いで「相談窓口の充実」が27.6%、「サービス情報提供体制の充実」が15.1%となっています。

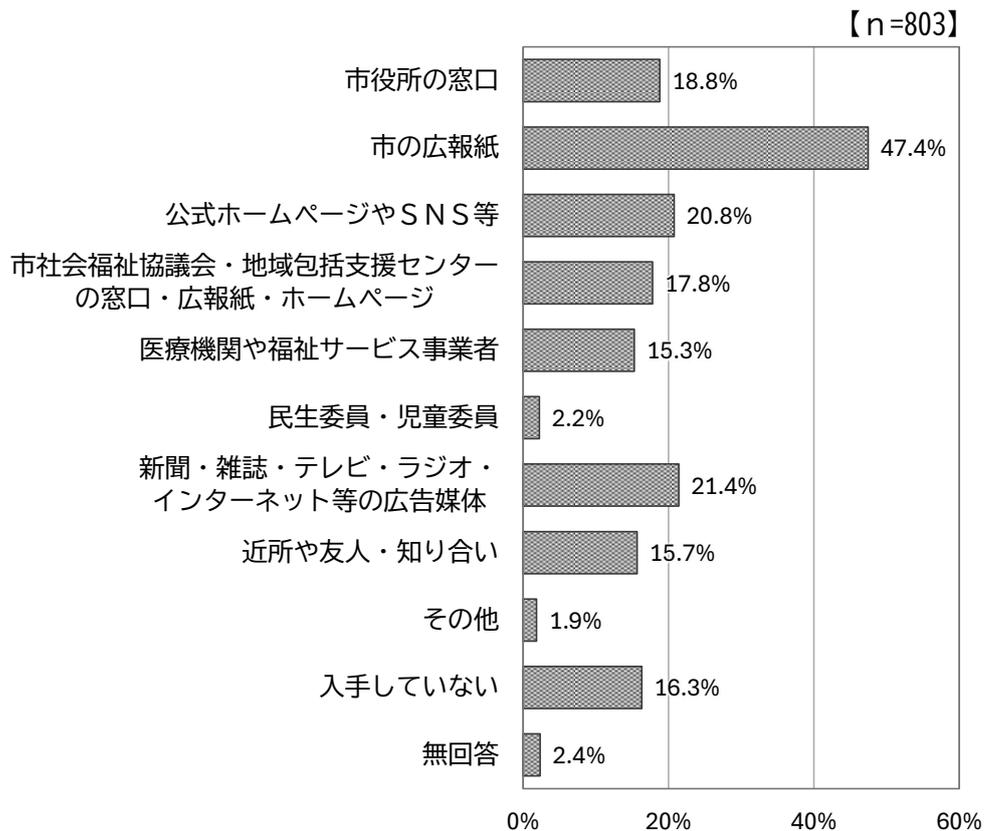


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
97	受けない人への連絡。収入・年金は分かっているはず
236	わからない
324	優秀な行政職員
511	アウトリーチ型。対象者を把握する方法（訪問など）手段
595	交通手段
643	わからない
733	問い合わせ先の周知。気軽に相談できる仕組み作り
754	サービス情報を医療機関と共有し必要な方へお知らせする

問 33 あなたは、福祉サービスや介護保険サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。  
（あてはまるものすべてに○）

○福祉サービスなどの情報入手先については、「市の広報紙」（47.4%）が最も多くなっています。

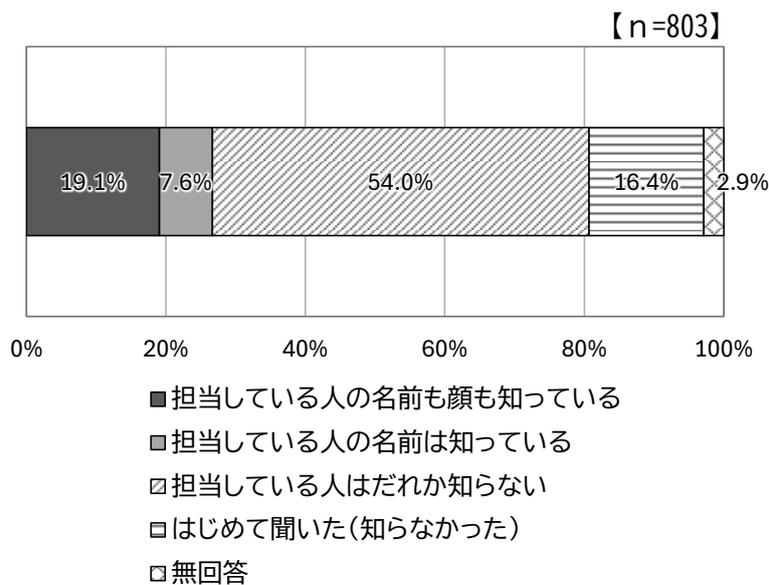


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
90	ケアマネ
97	このアンケート調査
153	ケアマネージャー
176	身内にケアマネがいるので聞いている。
220	仕事関係
243	仕事
309	自分で調べる。学校などで
381	気になったら調べる。市役所に訪問し聞く。
409	姉妹
447	ケアマネージャー
474	仕事上
520	妹や訪問看護師
644	情報を得たいと思った事がない
713	看護専門学校で学んだ
785	他からの情報が少ないので広報紙から得る事が多いが、福祉館など実際に利用できる施設があれば多くの人が情報を得やすいと思います。

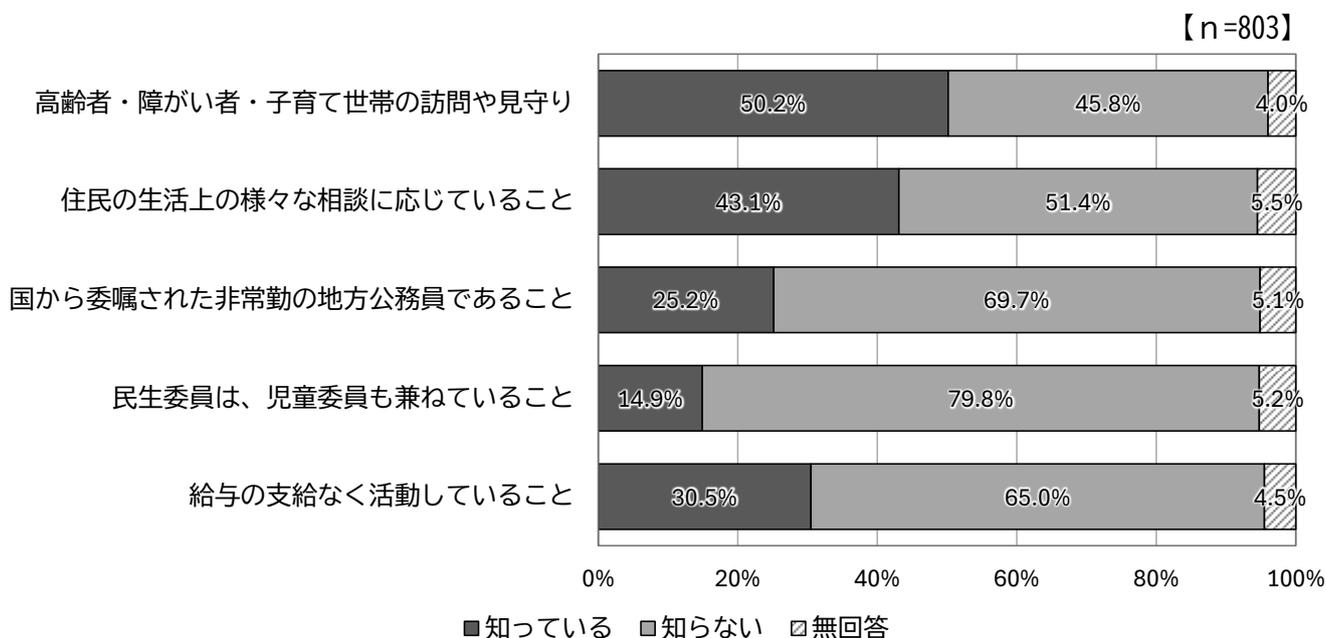
問 34 あなたの地区の担当の「民生委員・児童委員」を知っていますか。(1つに○)

○居住する地区を担当する民生委員・児童委員の認知度については、「担当している人はだれか知らない」が54.0%と半数を超えています。また、「担当している人の名前も顔も知っている」は19.1%となっています。



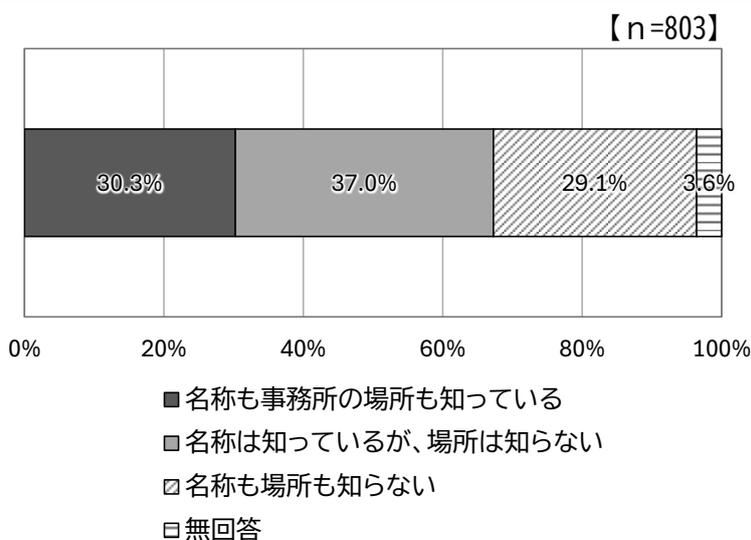
問 35 「民生委員・児童委員」の活動について知っていますか。(項目ごとに1つに○)

○民生委員・児童委員の活動の認知度について、「知っている」は、「高齢者・障がい者・子育て世帯の訪問や見守り」が最も多く、次いで、「住民の生活上の様々な相談に応じていること」となっています。



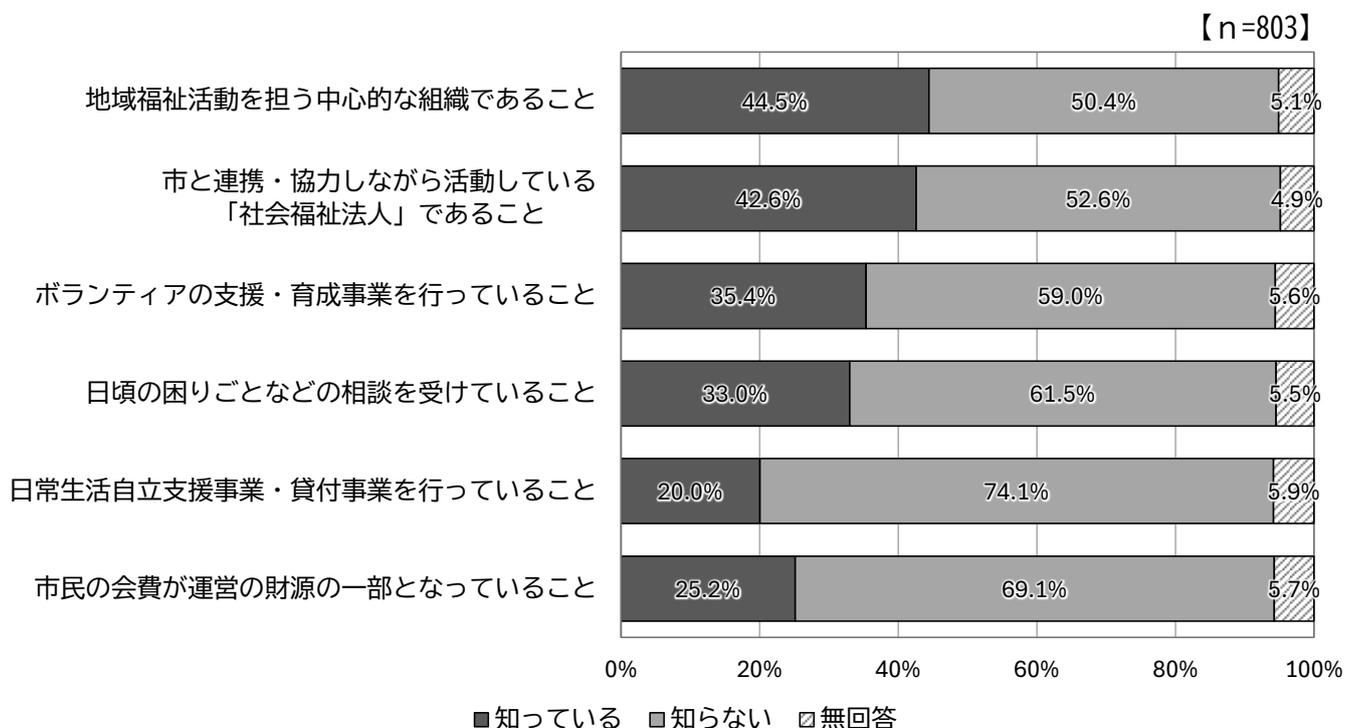
問 36 「常総市社会福祉協議会」(社協)を知っていますか。(1つに○)

○常総市社会福祉協議会の認知度については、「名称は知っているが、場所は知らない」が37.0%、「名称も事務所の場所も知っている」が30.3%、「名称も場所も知らない」が29.1%となっています。



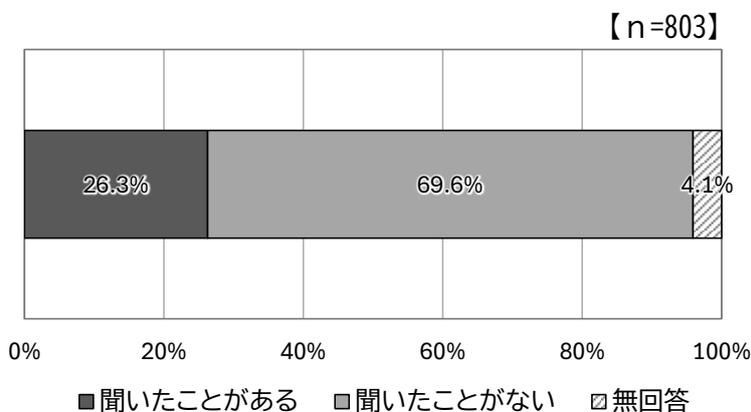
問 37 「社会福祉協議会」の活動について知っていますか。(項目ごと1つに○)

○社会福祉協議会の活動の認知度については、「地域福祉活動を担う中心的な組織であること」、「市と連携・協力しながら活動している「社会福祉法人」であること」が40%を超えています。



問 38 「地域共生社会」という言葉を見聞きしたことがありますか。(1つに○)

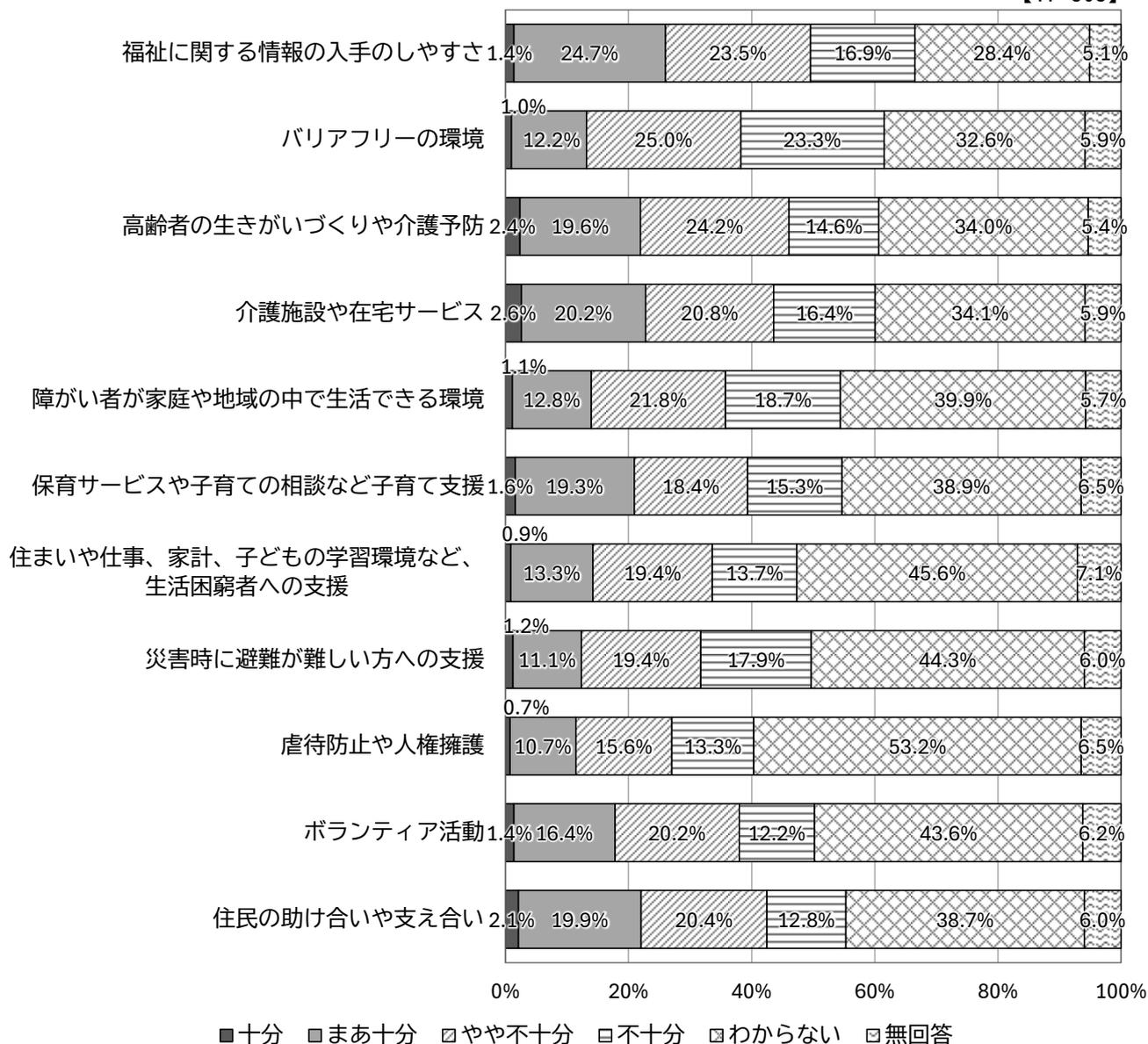
○地域共生社会の認知度については、「聞いたことがある」が26.3%であるのに対し、「聞いたことがない」が69.6%となっています。



問 39 常総市の福祉環境について、どのように評価しますか。(項目ごと1つずつ〇)

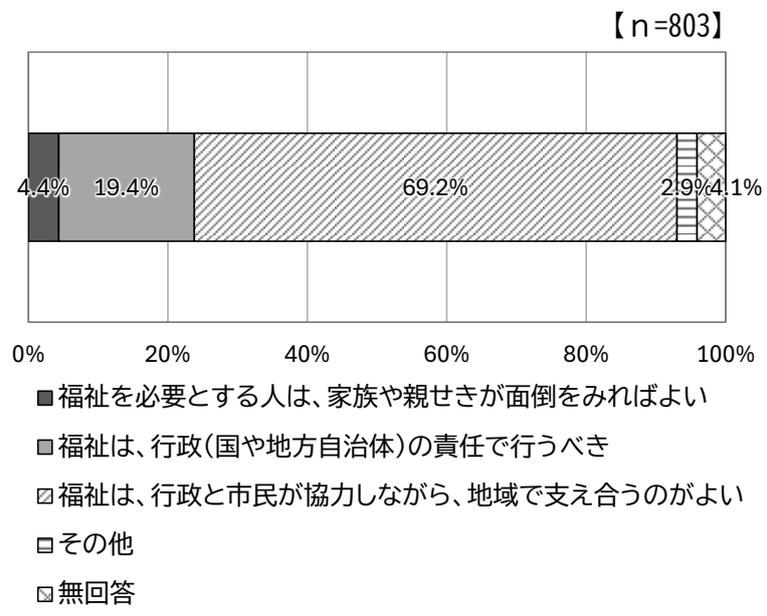
○常総市の福祉環境の評価については、「福祉に関する情報の入手のしやすさ」、「介護施設や在宅サービス」、「住民の支え合いや助け合い」、「高齢者の生きがいづくりや介護予防」、「保育サービスや子育ての相談など子育て支援」などの評価が高くなっています。

【n=803】



問 40 『地域福祉』を進めていくにあたり、あなたの考え方に最も近いものはどちらですか。  
(1つに○)

○「地域福祉」を進めるための考え方については、「福祉は、行政と市民が協力しながら、地域で支え合うのがよい」が69.2%と最も多くなっています。



◆その他の意見

回答者No.	記述内容
42	全体像が見えず、判断が難しい
88	障がいがある人の支援は誰かの負担を伴うものであっては、障がい者は社会の「お荷物」になってしまう。手の届かないリンゴをとるために台を用意したり、誰かが代わりにとったりするのではなく、農家の方が「手の届く位置にリンゴを育てる」工夫を当然のようにできる社会を目指してほしい。障がいがある者がどうしたら自立できるのかを、もう一度考えたまちづくりをお願いしたい。
101	情報伝達方法が古くて、それ以前の問題、何もかもが古い。
201	いろいろと手続きが面倒なのは。
271	わからない
334	分からない
361	2番60%、3番40%
373	福祉制度がよく分かっていないので答えられない
381	基本的には2番ですが、市民が協力することも必要だと思います。
489	地域福祉がどの程度進んでいるのかわかっていないので
501	わかりません
595	福祉のプロを充実させる
643	分からない
644	よくわからない
661	私達も調べようとしていないが、ここまで知らないと情報の発信にも多少問題はあります
728	労働力なければ死ねばいいと思う
729	今のところは、上記の1と2の両論併記。介護保険で金取っておいて、責任取って欲しい。利用者負担増もありですね。

問 41 今後、常総市で地域福祉を推進していくために重要なことは何だと思えますか。(5つ以内で○)

○地域福祉を推進するために重要なことについては、「市民にわかりやすい福祉の情報提供の充実」(55.4%)、「安心して暮らせる防犯、交通安全対策の充実」(42.1%)、「高齢者や障がいのある方が気軽に外出できる環境の充実(39.6%)」、「市民のニーズに対応した福祉サービスの充実(39.5%)」、「誰もが福祉課題を「我が事」として認識する福祉意識の向上」(39.4%)、「災害に強く、市民が安心して暮らせる防災対策の充実」(39.0%) などが多くなっています。

